

人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業
「拠点機関におけるデータ共有基盤の構築・強化委託業務」
評価結果表

業務実施研究機関	学校法人 谷岡学園 大阪商業大学
業務実施研究所等	大阪商業大学 JGSS 研究センター
業務主任者	岩井 紀子・センター長
総合評価:A	
総合評価に関するコメント	
<p>JGSS 及び EASS については未整理状態であったデータの整備や公開準備が着実に進展している。また、これまで他の機関に委託していた JGSS データの公開機能を自ら実装するようにした点、並びに、国立情報学研究所と連携したデータダウンロードシステムの開発は、評価したい。今後、学術的なデータの受け入れと公開を行うために必要な基礎が出来たと思われる。</p> <p>一方で、他機関等のデータの受入については、社会心理学に関して過去に蓄積された貴重なデータが対象となっているものの、現段階では公開予定データの数が少ないと評価される。</p> <p>公募要領にあるように「2年度目以降については、初年度の取組を引き続き実施しつつ、自研究所等が保有するデータや取り扱うデータの特徴を考慮した上で、自研究所等以外が保有する既存データを収集し、各取組(アからウ)について実施」して行く必要がある。常時継続的にデータを受け入れるための制度設計を行った上で、他機関等からのデータ受け入れと整備を精力的に実施していくことが求められる。また、本事業期間終了後も引き続き他機関からのデータ受け入れと、迅速なデータ公開を継続できる体制の整備を期待する。</p>	

※ 【総合評価】に対する標語は下記のとおり。

- S: 委託業務のこれまでの実施状況がたいへん優れており、今後の計画等についても本事業推進への貢献度が非常に高いと見込まれる。
- A: 委託業務のこれまでの実施状況が優れており、今後の計画等についても本事業推進への貢献度が高いと見込まれる。
- B: 委託業務のこれまでの実施状況は概ね問題なく、今後の計画等についても本事業推進への貢献が見込まれる。
- C: 委託業務のこれまでの実施状況はやや問題があり、今後の計画等については本事業推進に貢献するうえで改善が必要と判断される。
- D: 委託業務のこれまでの実施状況は問題が多く、中止が妥当と判断される。